

# ウィズコロナ時代の禁煙支援

## 講演要旨



日本大学歯学部 歯周病学講座 准教授 **菅野 直之**

喫煙者の割合は2割ほどから下げ止まっています、若い人を中心に加熱式たばこが広まり、販売側のイメージ戦略が強まっています。たばこの値上げも何回も行われてはいますが、喫煙者がやめようと思う1箱1,000円にはまだまだ届きません。これは国民の健康ではなく、たばこ産業を守るために作られたたばこ事業法が原因です。昨年開催された東京オリンピックがきっかけで健康増進法が改正され、2020年4月からは飲食店も原則屋内禁煙となりましたが、例外が広く認められ骨抜きです。そして、新型コロナウイルス感染症では喫煙者が重症化しやすいとの報告が増え、3密対策で喫煙所の閉鎖も見られます。このような背景からも禁煙への働きかけは喫緊の課題です。

通院者率の高い病気の中で歯の病気は男性3位、女性4位と定期的に歯科医院に通う患者さんも多いことから、歯科医院での禁煙支援が徹底できれば、その影響力は大きいと考えられています。来院した喫煙患者さんに治療の中でたばこの影響に気づいてもらう、少しでも禁煙の意識をもってもらうだけでも、多くの喫煙者は禁煙に対する無関心期から関心期、そして禁煙準備期へとステップアップできます。そして、禁煙を達成した後も歯科医院に定期的に通院することで禁煙の継続を維持することもできます。今回のフォーラムの中で、歯科医院での禁煙支援に興味を持っていただき、喫煙者自身あるいは周囲の喫煙者の方の禁煙のきっかけを掴んでいただければ幸いです。

## 略歴

1988年 日本大学歯学部 卒業  
1992年 日本大学大学院歯学研究科 修了  
同 年 日本大学 助手  
1994年 米国スクリプス研究所 研究員  
↓  
1997年  
2001年 日本大学 講師  
2004年 日本大学 助教授 (歯学部歯周病学講座)

## 専門医・指導医・学会活動

日本歯周病学会 専門医  
日本歯科保存学会 専門医  
日本抗加齢医学会 専門医  
日本禁煙学会 禁煙専門指導者